

不審電話に関する事例

事案①

5月11日（月）10時40分頃、宮崎市在住の後期高齢者医療被保険者男性（85歳）宅に、市役所職員のヤマナカと名乗る男性から「奥様の医療費の払戻しが32,890円ある。書類を送付していたが返送がないため連絡した。」との電話があった。

キャッシュカードを所持しているか尋ねられ、高鍋信金のものならあると答えるとマックスバリュウのATMまで来るように言われた。別の者からまた電話があると言われたがこの時点で不審に思い、十数分後に実際に電話で別人がATMの操作方法などを説明し始めたが「ややこしいことはわからないので直接市役所の窓口に行く。」と答えたところ電話を切られた。

詐欺だと思い、市役所に電話をしたことにより、本事案が判明した。

事案②

5月11日（月）16時45分頃、宮崎市在住の後期高齢者医療被保険者女性宅に、市役所職員を名乗る男性から電話

があった。

平成27年1月に入院をした際の医療費の差額についての内容であったが、「わかりません。」と答えたところ、電話が切れた。

被保険者女性の娘が、広域連合に電話で問い合わせたことにより、本事案が判明した。

不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。

問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合

0985-62-0921（業務課）